

令和元年度 事業報告書

特定非営利活動法人deleteC

1 事業の成果

別添資料参照

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 9,316 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ロゴ等を活用したがん啓発事業							482
がん啓発イベント事業							4,979
がん医学研究に対する寄付・助成事業							2,094
がん医学研究に関する情報提供・啓発事業							1,761

別添資料「Annual Report」参照

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)

該当ありません

delete €

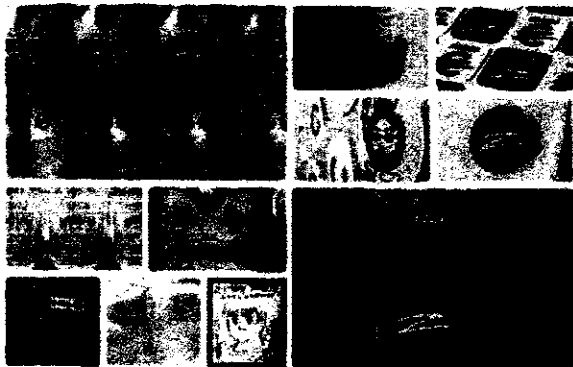
みんなの力で、がんを治せる病気にする プロジェクト

「がんを治せる病気にしたい」、そのシンプルで強い思いから、deleteCのすべては始まりました。毎年あらたに100万人以上ががんと診断され、毎年37万人もの人ががんによって命を落とし、生涯で2人に1人ががんになるといわれています。

こうした数字を目の前にすると、その問題の大きさに、足がすくむ気持ちになります。いったい自分になにができるのだろう、と。でも、私たちは絶対に「あきらめたくない」。

がんの治療研究は日々進んでいるとのこと。その研究のひとつひとつが、希望の種です。deleteCは、誰もが参加できて、みんなでがんの治療研究を応援している仕組みをつくり、がん治療研究を応援し続けます。

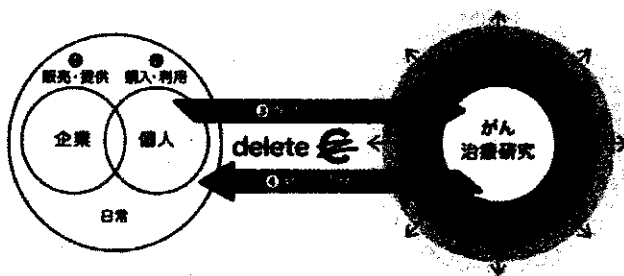
deleteC とは



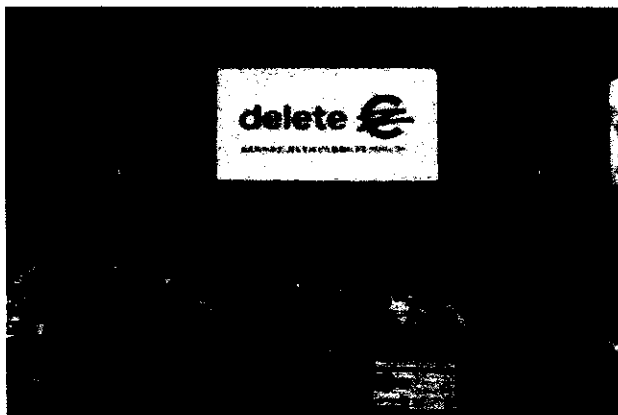
「誰もが参加できる」デザインアクションを通じて寄付・発信を行い、がん治療研究を応援する仕組み

個人、企業、組織や立場を越え、誰もがその思いを自由に意思表示するなど応援できる仕組みをつくり、1日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献します。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体・自治体・個人が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から「C」の文字を消したり、deleteCのロゴやコンセプトカラーを使うなどし、オリジナル商品・サービスを制作・販売・提供します。購入金額の一部はdeleteCを通じて、医療者が推進するがん治療研究に寄付します。



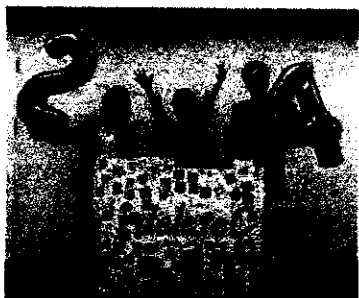
尚、2019年10月にdeleteCコラボ商品の「C.C.レモン」のCを消した商品を発表し、2020年1月18日にはラグビートップリーグにて「deleteCマッチ」と題して、選手とともに募金を呼び掛けるなど、その取組みの輪は広がりつつあります。現在では、賛同企業50社、寄付者500名を超える方々に支持されています。



昨年末deleteCの初の寄付先となるがん治療研究を公募。選出したテーマの情報コンテンツを制作し、2020年2月1日に「deleteC 2020 -HOPE-」を開催。寄付実行とともに広くメディアに発信。

がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、厳正なる審査のもと、寄付先を決定いたしました。選出したテーマの動画・プレゼン資料などの情報コンテンツを制作・発表し、deleteCが選定するメディアにて幅広く情報発信しています。

2019年度トピックス



2018/11/2 出会いとはじまり

「がんを治せる病気にしたい」
deleteCは [redacted] が抱いていたこの想いからはじまりました。

この構想は、2018年11月1日に「MD Anderson Cancer Center」という米テキサス州ヒューストンにあるがんセンターで研究をしているがんの専門医師・ [redacted] との出会いにより加速していきました。

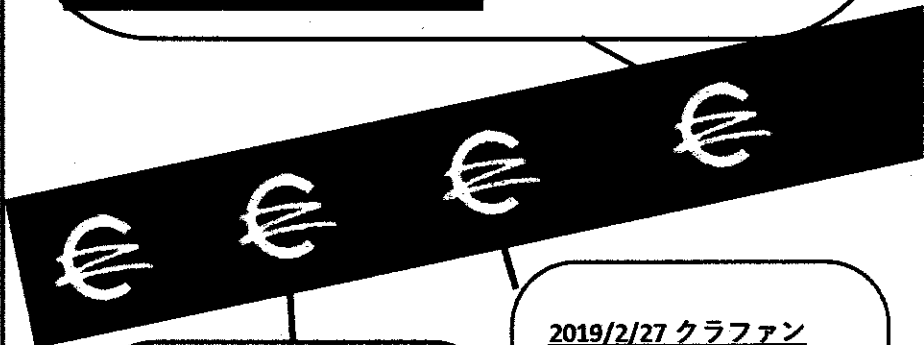
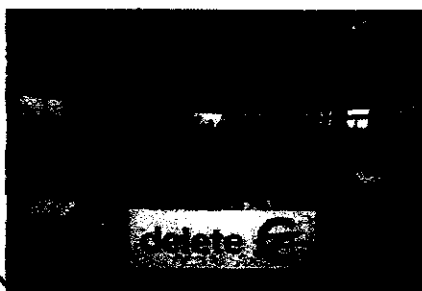
[redacted] との出会いの翌日、 [redacted] と [redacted] は渋谷のカフェにいました。「がんの治療研究のためになりがえるのか」を考えていた時、机の上に置かれた [redacted] の名刺を見た [redacted] の頭に、ある仕組みがひらめきました。「MD Anderson Cancer Center」のロゴには、「Cancer」の文字を消すように赤い線が引かれていたのです。そのロゴから着想を得て「商品からCを消して、それを買うとがん治療研究への寄付になる」というデザインアクションが生まれました。がんに関わるすべての方々はもちろん、これまでがんを遠い存在に感じていた方々も、誰もが垣根を超えて自分ごととして参加することができる仕組み、それこそがdeleteCの目指す姿となりました。

2019/5/11 | deleteC先行プレミアム体験会 | 開催

「deleteC先行プレミアム体験会」は、10月の本格始動に先駆けて、参加者のみなさまと一緒に「deleteCの世界観をつくりあげること」を目標として開催いたしました。138名の方々にご参加くださり、出展・協力企業は30社以上集まりました。会場に設置された協力企業のブースでは、deleteC仕様になったオリジナル商品やサービスをご覧いただいたり、実食していただいたりしました。

また、トークセッションのあとには「#deleteCやってみた」というワークショップを実施し、株式会社リコーのハンディプリンター「RICOH Handy Printer」や自分の手書きなど思い思いの方法で、実際に「C」の文字を消す体験をしていただきました。

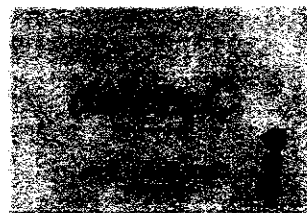
キックオフ時にはエンラゴトでしかなかったプロジェクトが、立ち上げから3カ月でどこまで進むことができたのかを、いつも応援をしてくださるみなさまと共有できた大切な場となりました。



2019/2/27 クラファン campfire

【支援者数：161名 支援総額：1,598,009円】

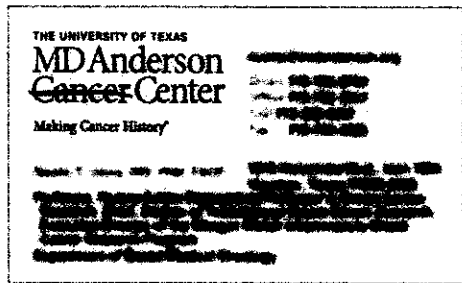
キックオフと同時にスタートしたクラウドファンディングは、2019年2月27日（水）に終了しました。みなさまのご支援のおかげで、2月22日には目標金額の100パーセントを達成、そして終了日2月27日には133パーセントを達成することができました。今後に向けての大きな勇気をいただくこととなりました。



2019/2/4 deleteC キックオフ

2019年2月4日「World Cancer Day（世界対がんデー）」からdeleteCはスタートしました。この日行われたキックオフイベントはその構想をはじめて公に発表する場となり、「がんを治せる病気にすることを、あきらめない」という想いに共感をしてくださる方が集まり、その輪がどんどんと広がっていくことを実感することができました。

最初に「C」を消すことに協力してくださった株式会社CAMPFIRE（クラウドファンディング会社）のサイトで、法人設立のためのクラウドファンディングを開始しました。



2019/9/26 癌学会でのご案内



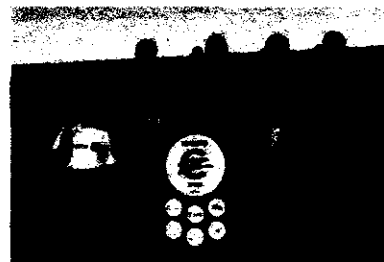
2019/12/10 クラファン (Readyfor)

【支援者数：167名 支援総額：1,645,000円】

12月10日、2月1日のイベントに向けたクラウドファンディングが始まりました。今回は、イベント費への支援を募るものであり、がん治療研究や事務局運営費に向けたものではありませんでしたが、167名もの方々にご支援をいただき、1月26日には目標金額を達成、1月31日に終了いたしました。



2020/2/1 deleteC 2020 -HOPE-



2019/9/5 法人化

特定非営利活動法人 deleteCとして法人設立をし、十数名の運営スタッフで活動を本格化させました。

2019/10/20 | deleteC 本格始動！ Meet Up Event |

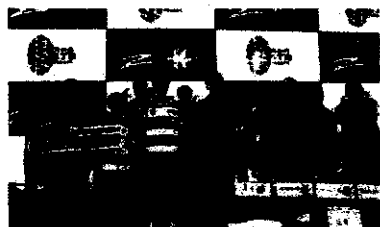
東京丸の内ビルディング内のMarunouchi caféにて、本格始動後初となるイベントを開催いたしました。deleteCの趣旨に賛同をいただいた方々、企業にご参加をいただきました。

会場には実際に「C」を消した商品が登場し、deleteCのデザインアクションを現実のものとしてみなさまにお披露目することができました。サントリー食品インターナショナル株式会社「C.C.レモン」の「..レモン」、IKEUCHI ORGANIC株式会社「COTTON NOUVEAU」の「オットンヌーボー」、他に賛同をいただいた6の参加企業もそれぞれ「C」を消した商品やがんの治療研究への協力及び支援などが紹介され、会場は大きく盛り上がりました。

午後からは、三菱地所様のラグビーを通じた街づくりプロジェクト（丸の内15丁目プロジェクト）とのコラボイベント「SCRUM! MARUNOUCHI」を開催し、多くの方々に集りいただきました。

ご自身もがんを経験されたという三菱重工相模原ダイナポアーズの田中伸弥選手をはじめ、deleteCに賛同して下さったラグビートップリーグで活躍する11人の選手も登壇していただきました。

deleteCが垣根を越えて「誰もが参加できる」仕組みになるための大きな一歩を実感することができた場となりました。



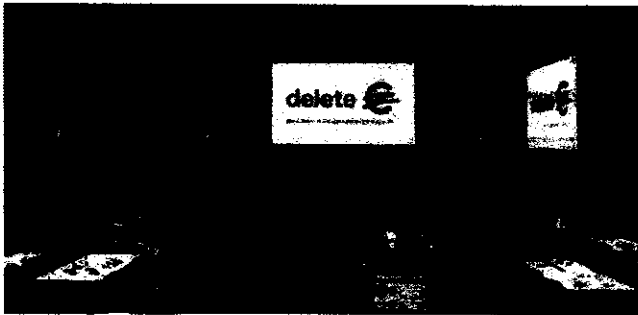
2019/1/18 deleteCマッチ

ラグビーのトップリーグの試合会場で、選手のみなさまが募金の呼びかけをしてくださいました。試合のハーフタイムには大型ビジョンに「deleteC」の文字が映し出され、その場にいた大勢の方と「がんを治せる病気にしたい」という思いを共有できたことで、広がりを実感するとともに、応援の力の心強さを感じることができました。



deleteC 2020 -HOPE-

第一部：がん治療研究への寄付



2020年2月1日、「delete C 2020 -HOPE-」を開催

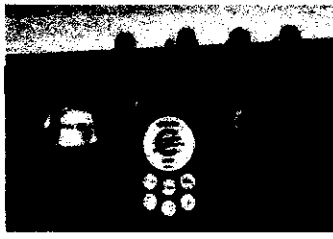
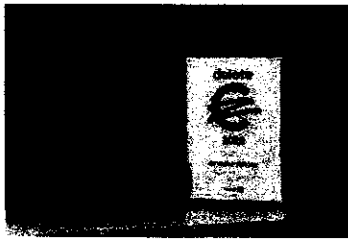
多くの医療関係者、企業関係者、一般参加者、メディアの方々にお集まりいただき、2019年度の活動を通じて集まった寄付金を「がん治療研究」にお届けしました。

<寄付先の選出方法>

2019年9月26日～11月8日まで寄付を希望するがん治療研究を募集したところ、抗がん剤の開発、治療法の開発、ゲノム医療など17テーマの応募がありました。

医療関係者選考委員4名を中心とした選考メンバーが、「科学的論理性」、「実行可能性」、「社会的インパクト」、「応募者の研究テーマにかける情熱」などの観点から応募内容を議論しました。また、応募者と同じ医療施設や研究チームに所属する選考委員は当該研究テーマの評価を行わないことや、選考結果を応募者に返すことなど、公平性と透明性という点も重視しました。

上記の選考プロセスを経て、社会に広く啓発したい研究テーマを「D&I部門（ドネート&インフォーム部門）」として2つを選出しました。さらに、寄付対象とはならなかったものの、広く社会に知ってもらいたい研究テーマを「I部門（インフォーム部門）」として2つを選出しました。



「早期子宮頸がんに対するセンチネルリンパ節生検併用による侵襲の軽減とQOL改善を目指した標準治療法確立のための国際共同第Ⅲ相試験」

【選出理由】 応募の中で評価は第1位。早期子宮頸がんの患者さんのQOL向上のために国際共同試験に参加し、標準治療法確立に挑戦されるという研究テーマが大変重要である。

代表理事（小国）：web面談で、先生とお話をさせてもらった時から、誠実に研究に対するまっすぐな想いに、僕は共感しました。

「網羅的遺伝子解析による小児がんの治療法成績改善」

【選出理由】 小児がんは遺伝的要因が強く、乳幼児の死亡要因としても高い疾患ですが、きちんと診断されれば治療確率の高い特徴があります。遺伝子から調べるという医療の仕組みが成立していない中で、遺伝子検査を行うこの研究の意義は大変大きい。

代表理事（小国）：先生は、普段の講演や市民講座でも自分で描いたイラストを使い、分かりやすく人々に伝える工夫をしているということでした。こういう先生がいらっしゃるということに感激しました。

「がん領域における次世代のClinical Investigators 育成のためのワークショップ」

【選出理由】 がんの治療研究、臨床試験における若手医療者の人材育成は大変重要である一方で、広く社会には知られていない課題。delete Cとして積極的に啓発、応援をしていきたいテーマである。

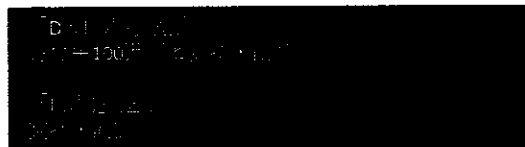
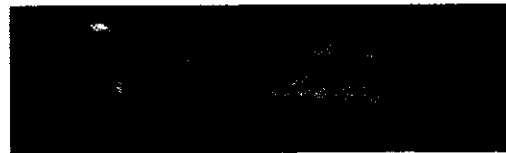
「固形がん患者における初回治療前の包括的ゲノムプロファイル検査の有用性を評価する前向き観察研究」

【選出理由】 の研究テーマは、がんと診断されたらそのタイミングで遺伝子パネル検査を実施することの有用性を検証するもので、社会的インパクトが非常に大きい。昨年からはゲノム医療、遺伝子パネル検査が始まりdelete Cとしても啓発、応援したい。

「D&I部門」



「I部門」



deleteC 2020 -HOPE-

第二部：がんを治せる病気にしたい。 エソラゴトを描こう

参加者と考える「delete Cの有りたい未来」

フューチャーセッションとは、「新たな関係性」と「新たなアイデア」を生み出し、参加者同士の「協調アクション」を生み出す場です。

今回は、「deleteC2020-HOPE-」というイベント名にちなみ、参加者でdelete Cの有りたい未来を考える場として、株式会社フューチャーセッションズの協力のもと実施しました。



当日集まった応援の声

今日の経験は自分にとってとても貴重な体験になりました！！わたしはお医者さんではないけど、少しは役に立てることがあるのかも。。。！と思えました。

患者さんは多いし、誰でもガンになる可能性があるのに、みんなはなしてないのはおかしいですね。Cを消すのが、なんだか気持ちいいーみたいになるといいなと思います。

あかるく、かるくに共感しています。また今日、受賞された子宮頸がん早期の標準治療が変わればいいなと願います。子宮広範摘出に満足していない人いっぱいいると思います。

直接でも、間接でもどんな形でもサポートしたいと思いました。医師、企業、NPO、にわか、みんなでやれば絵空事が達成できると思います。



1日でも早くがんが治せる病気になることを願っています！微力ではありますが、今後も応援し続けます！deleteCと出会えたことに感謝です。

私の祖父、父、母をガンで亡くしています一日も早く完治薬が出来ることを切望します自らも病気と闘いながらこの様なアクションを起こせるパワーがきっと病気にも打ち勝つことと思います！ファイト！

採択された研究の話/動画にわくわくしました。がんのことなのにわくわくの側面が入っているとは思いませんでした。「わかる」って大切です！これからも応援しています。

家族にも親族にも癌と共に生きている人がいます。NHKの番組を見て、力をもらうとともに、少しでもお役に立ちたいと思いました。この活動がもっと広がっていきまように。

今はガンではありませんがいつ自分がガンになるかもわからない。1日でも早くガンを治せる病気にする！に賛同します。父が自分で週1注射でガンと闘っています。ナオさんみたいに若くはありませんが、ガンが完治する病気になる事を願って！！

誰もが癌になる可能性があります。医学は日々発展しているけれど、癌を治すことが中々出来ていません。少しでもお役に立てれば幸いです。

令和元年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 deleteC

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
1 受取会費		244,000
受取会費	164,000	
入会金	80,000	
2 受取寄附金		10,751,853
受取寄附金	10,402,344	
募金収入	349,509	
3 受取助成金等		0
5 事業収益		713,000
イベント参加費	713,000	
6 その他の収益		258,000
受取利息	8	
雑収入	258,000	
1 事業費		
外注費	3,374,495	
荷造運賃	6,501	
広告宣伝費	266,753	
交際費	0	
会議費	4,320	
旅費交通費	33,470	
通信費	0	
消耗品費	702,564	
支払手数料	677,425	
賃借料	1,755,010	
保険料	16,662	
租税公課	379,800	
支払報酬料	100,400	
寄付金	2,000,000	
事業費計		9,317,400
2 管理費		
外注費	0	
荷造運賃	0	
広告宣伝費	16,416	
交際費	0	
会議費	17,672	
旅費交通費	177,992	
通信費	8,981	
消耗品費	11,070	
支払手数料	17,026	
賃借料	46,653	
保険料	0	
租税公課	0	
支払報酬料	192,000	
寄付金	0	
管理費計		407,810
当期経常増減額 (A) - (B) . . . ①		2,161,651
法人税、住民税及び事業税 . . . ④		0
前期繰越正味財産額 . . . ⑤		0
当期経常外増減額 (C) - (D) . . . ②		0

令和元年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 delete C

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
1 流動資産		
現金預金	3,429,583	
前払費用	23,904	
未収入金	45,000	
流動資産合計 . . . ①		3,498,487
2 固定資産		
固定資産合計 . . . ②		0
【A】資産合計 ①+②		3,498,487
1 流動負債		
未払金	178,586	
未払費用	1,150,594	
預り金	7,656	
流動負債合計 . . . ③		1,336,836
2 固定負債		
固定負債合計 . . . ④		0
前期繰越正味財産額	0	
当期正味財産増減額	2,161,651	
【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		3,498,487

令和元年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 delete C

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当ありません。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当ありません。
- (3) 引当金の計上基準
該当ありません。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスの受け入れは、活動計算書に計上していません。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	ロゴ等を活用したがん啓発事業	がん啓発イベント事業	がん医学研究に対する寄付・助成事業	がん医学研究に関する情報提供・啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	164,000	164,000
2. 入会金	0	0	0	0	0	80,000	80,000
3. 受取寄附金	2,182,023	4,873,121	3,347,200	0	10,402,344	0	10,402,344
4. 募金収入	0	253,242	96,267	0	349,509	0	349,509
5. イベント参加費	0	713,000	0	0	713,000	0	713,000
6. 受取利息	0	0	0	0	0	8	8
7. 雑収入	0	208,000	0	0	208,000	50,000	258,000
経常収益計	2,182,023	6,047,363	3,443,467	0	11,672,853	294,008	11,966,861
II 経常費用							
(1) 人件費							
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
外注費	0	1,614,495	0	1,760,000	3,374,495	0	3,374,495
荷造運賃	0	6,501	0	0	6,501	0	6,501
広告宣伝費	0	266,753	0	0	266,753	16,416	283,169
交際費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	4,320	0	0	4,320	17,672	21,992
旅費交通費	0	33,470	0	0	33,470	177,992	211,462
通信費	0	0	0	0	0	8,981	8,981
消耗品費	0	694,814	7,750	0	702,564	11,070	713,634
支払手数料	2,734	586,979	86,502	1,210	677,425	17,026	694,451
賃借料	0	1,755,010	0	0	1,755,010	46,653	1,801,663
保険料	0	16,662	0	0	16,662	0	16,662
租税公課	379,800	0	0	0	379,800	0	379,800
支払報酬料	100,400	0	0	0	100,400	192,000	292,400
寄付金	0	0	2,000,000	0	2,000,000	0	2,000,000
その他経費計	482,934	4,979,004	2,094,252	1,761,210	9,317,400	487,810	9,805,210
経常費用計	482,934	4,979,004	2,094,252	1,761,210	9,317,400	487,810	9,805,210
当期経常増減額	1,699,089	1,068,359	1,349,215	△ 1,761,210	2,355,453	△ 193,802	2,161,651

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
	活動計算書に計上しておりません。	

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は2,161,651円で下記のように使途が特定されている寄附金等の残高はありません。
したがって使途が制約されていない正味財産は2,161,651円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ReadyFor	0	2,845,000	2,845,000	0	イベント開催費用に限定
FANCL	0	300,000	300,000	0	備品消耗品購入費用に限定
合計	0	3,145,000	3,145,000	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
無形固定資産						
投資その他の資産						
合計			該当ありません。			

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	1,910,000	1,910,000	0
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
受取会費	164,000	80,000	0
入会金	80,000	35,000	0
受取寄付金	10,402,344		20,000
活動計算書計	10,646,344	115,000	20,000
(貸借対照表)			
未収入金	45,000	24,000	
未払金	178,586	179,454	
貸借対照表計	223,586	203,454	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費はありません。
- ・ その他の事業に係る資産の状況
その他の事業固有の資産はありません。

令和元年度 財産目録

特定非営利活動法人 deleteC

(単位：円)

科 目	金額	小 計	合 計
1 資産			
現金預金		3,429,583	
手元現金	8,546		
みずほ	0		
みずほ	3,421,037		
前払費用		23,904	
Zoom	9,213		
キュービット木場	14,691		
未収入金		45,000	
資産合計・・・①			3,498,487
2 負債			
負債合計・・・②			0
【A】資産合計 ①+②			3,498,487
1 資産			
未払金		178,586	
未払費用		1,150,594	
リル株式会社	77,000		
名古屋大学医学部附属病院	1,000,000		
Zoom	10,050		
キュービット木場	63,544		
預り金		7,656	
源泉所得税	0		
源泉所得税	0		
源泉所得税	7,656		
源泉所得税	0		
資産合計・・・③			1,336,836
2 負債			
		0	
		0	
負債合計・・・④			0
【B-1】負債合計 ③+④			1,336,836
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】			2,161,651

令和元年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人deleteC

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

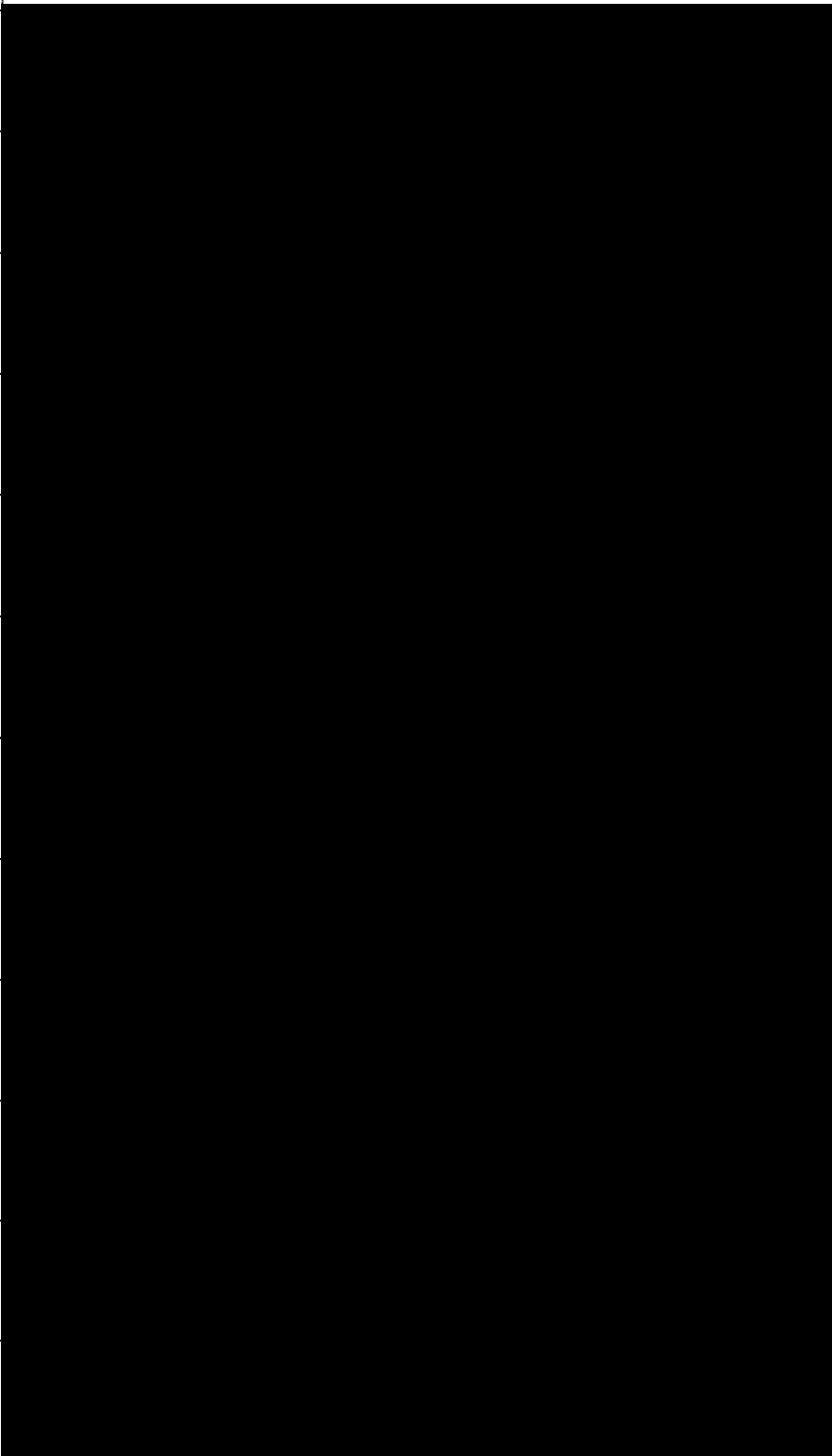
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
- 各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	オグニシロウ	[REDACTED]	2019年9月5日	年 月 日
		小国士朗		~ 2020年3月31日	~ 年 月 日
2	○理事・監事	ナカジマナオ		2019年9月5日	年 月 日
		中島順		~ 2020年3月31日	~ 年 月 日
3	○理事・監事	ナガイヨウコ		2019年9月5日	年 月 日
		長井陽子		~ 2019年12月23日	~ 年 月 日
4	○理事・監事	イナガキケイスケ		2019年12月23日	年 月 日
		稲垣慶典		~ 2020年3月31日	~ 年 月 日
5	○理事・監事	サクラバヨシユキ		2019年12月23日	年 月 日
		桜庭喜行		~ 2020年3月31日	~ 年 月 日
6	○理事・監事	サワイノリコ	2019年12月23日	年 月 日	
		澤井典子	~ 2020年3月31日	~ 年 月 日	
7	○理事・監事	ナカムラシンイチロウ	2019年12月23日	年 月 日	
		中村晋一郎	~ 2020年3月31日	~ 年 月 日	
8	理事・○監事	タキグチトオル	2019年9月5日	年 月 日	
		瀧口徹	~ 2020年3月31日	~ 年 月 日	
9	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				~ 年 月 日	~ 年 月 日
10	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				~ 年 月 日	~ 年 月 日

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人 delete C

	氏名	住所又は居所
1	小国士朗	
2	中島順	
3	長井陽子	
4	家富未央	
5	稲垣慶典	
6	柏崎千佳	
7	桜庭喜行	
8	澤井典子	
9	徳田祐司	
10	中田憲介	
11	松嶋恭子	
12	中村晋一郎	